

(公財) 日本ヘルスケア協会から

発行：日本ヘルスケア協会 事務局

今回は3月22日発行のニュースリリースNo.81以降の動きについてご報告いたします。

1. 第4回年次大会・JAH1活動発表会開催(3月17・18日)の事後処理を行っています。

2023年3月17日(金)・18日(土)開催の第4回日本ヘルスケア学会年次大会・公益財団法人日本ヘルスケア協会活動発表会は、登録申込者271名、出展関係者等約30名の合計約300名(1日当たり)のご参加を得て、無事終了いたしました。ご参加が多かったのは、医療用医薬品卸売業、肥料製造・販売企業、医療機器・医薬品販売企業、薬科大学関係者、医療系人材派遣・紹介企業、ドラッグストア・調剤薬局、食品メーカー等の方々でした。

事務局では、早速、

- (1) 基調講演「ヒューマンヘルスからプラネタリーヘルスへ」の提唱に呼応した部会の新設等、普及活動の推進(4月14日第1回準備会、5月、6月に各1回開催)
- (2) 教育講演「ペットとの共生とヘルスケア」で提唱された『ワンヘルス』推進の6つの柱のうち、「④人と動物との共生社会づくり」の社会実装
- (3) 口頭発表・優秀賞受賞「感染症予防情報アプリ：プレサイン」の普及推進支援等の事後処理に当たっています。

2. ヘルスケア研究助成の選考委員会が開催されました。

JAH1の公益財団法人化のメイン事業として、その運用方法に関して、内閣府公益認定等委員会から厳しい指導を受けた「ヘルスケア研究助成」事業は、昨年10月31日に広く公募を開始、本年1月31日の応募締切まで、合計31件の申請をいただきました。

応募案件は、ペットケアからセルフチェック、フレイル予防、健康経営、COVID19関連、アスリートの栄養摂取、地域包括支援センター関連まで、日本ヘルスケア協会の性格を反映して幅広い分野から寄せられました。

その後、事務局による応募資格のチェックを経て、概要資料を委員宛て送付の後、4月5日(水)午後、選考委員会(JAH1内部委員4名、外部委員6名で構成)をリアル・WEB併用の形で開催しました。事務局から公募経緯の報告、申請案件の概要を報告の後、委員審査が行われました。今後、委員の評価表集計等を経て、4月17日(月)午後1時に合格案件(上限100万円×5本)がJAH1ホームページ等で公表されます。

3. 弊協会の事務所移転計画が進んでいます。

弊協会は今年6月下旬に、中央区日本橋横山町に事務所を移転する予定です。

移転予定の物件は、5階建て新築ビルの2階。5月末の竣工予定です。

周辺のロケーションは、いわゆる繊維問屋街の真ん中で、虎ノ門地区とは全く性格が異なり、昨今の状況では土曜日曜でもインバウンドの旅行客が小売り可の店舗を目指して右往左往するような活気のある下町です。

新事務所には、事務スペース、小会議室、役員室を除いた残りのスペースすべてをミニセミナー等が開催できる多目的スペース(最大60人程度収容)とし、部会・研究会・委員会等、関係各位が活発に情報交換・交流できる場とする計画ですのでご期待ください。

なお、上記と関連して、虎ノ門事務所は6月17日(月)から会議室が使用できなくなりますので、部会・研究会等計画に当たってはご留意ください。

